

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	此花区
学校名	高見小学校
学校長名	岩永 磨美子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に关心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立高見小学校では、第6学年 65名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科は大阪市平均正答率を1ポイント上回ったが、全国平均正答率より0.7ポイント下回った。

「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項・(3) 我が国の言語文化に関する事項」については全国・大阪市平均正答率を上回ったが、「C読むこと」では、全国・大阪市平均正答率を下回った。

算数科は全国平均正答率を0.7ポイント、大阪市平均正答率を1ポイント上回った。特に昨年度の課題であった「A数と計算」について大阪市平均よりも正答率を大きく上げることができた。

無回答率は国語科・算数科ともに全国平均より、前年度と比べても算数科は無回答率がさらに減少している。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]自分の考えを書くこと（短答式・記述式）においては、問題の意図を理解し記述することができた。無解答率においても、全国平均が4.2ポイントに対し、本校では2.5ポイントと対全国差1.7ポイントであることから、問題に対して粘り強く取り組むことができているといえる。一方、「読むこと」において、6.1ポイント「情報の扱い方に関する事項」において6.9ポイントと対全国比を下回った。文章を大体で捉えているため、内容理解が乏しく、選択肢との整合性が理解できていないことがあげられる。短時間での内容理解とともに語彙力を高める指導を行っていきたい。

[算数]「A数と計算・C変化と関係」の領域については全国平均を上回り、特に変化と関係についての設問は正答率が高かった。タブレット（ナビマ、スタディーサプリ）を使用した学習など、基礎、基本の定着を図る取り組みの成果がわかる。しかし、「Cデータの活用」の領域では全国平均・大阪市平均を下回っており、グラフなどの特徴や傾向を読み取ったり、とらえたりすることに課題がみられる。

質問調査より

本校では、人権教育年間計画を作成し、互いの違いを理解し、認め合う児童集団の育成に努めている。その結果、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思います。」「人が困っているときは、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」などの質問については、肯定的な回答の割合が全国・大阪市より上回った。今後も継続して互いの違いを理解し、認め合う児童集団の育成を行っていきたい。一方、「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」などの自己肯定感を問う質問については、肯定的な回答の割合が前年度に比べて下回り、自己肯定感の低さが課題として表れていると考えられる。

今後の取組(アクションプラン)

「誰一人取り残さない学力の向上」に向け、学力向上支援チーム事業、国語科の校内研修をさらに充実させ、教員の授業力向上を目標とともに、ICTを活用して教科の復習などを行い、児童の基礎的・基本的な学習の定着を図る。学力に課題の見られる児童に対しては、学年全体で協力できる体制を構築し、きめ細かい指導・支援を行うことで、学力向上を図る。すべての学習の基本である国語科に重点を置き、「読み取り、活用する力」の向上を目指した指導を行う。その際、自分の考えが広がり、深まるような話し合い活動を行うことで、伝えたいことを明確に書いたり話し合ったりする力が向上するよう指導を行う。児童質問紙より課題が明らかになった課題については、本校の人権教育年間計画を基に、各学年ごと、コグトレやピアサポートなどの指導を活用し、自己肯定感や自己有用感を高める取り組みを行っていく。

【 全体の概要 】

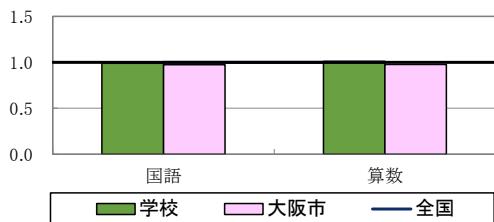
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	67	64
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

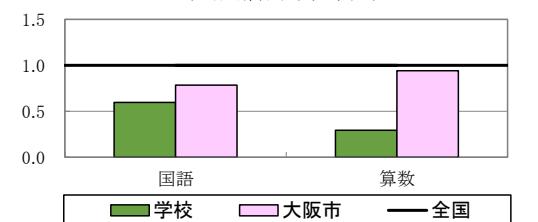
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	2.5	1.0
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



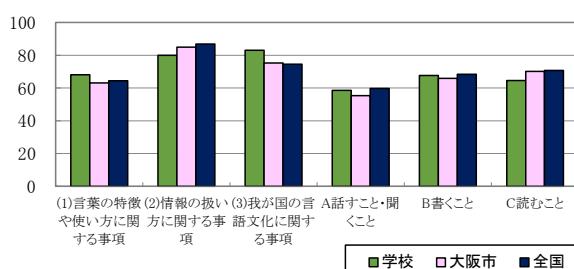
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	68.1	63.1	64.4
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	80.0	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	83.1	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	58.5	55.3	59.8
B 書くこと	2	67.7	65.9	68.4
C 読むこと	3	64.6	70.1	70.7

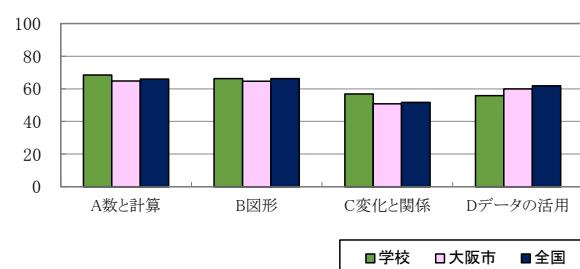
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	68.5	64.8	66.0
B 図形	4	66.2	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	56.9	50.8	51.7
D データの活用	4	55.8	60.0	61.8

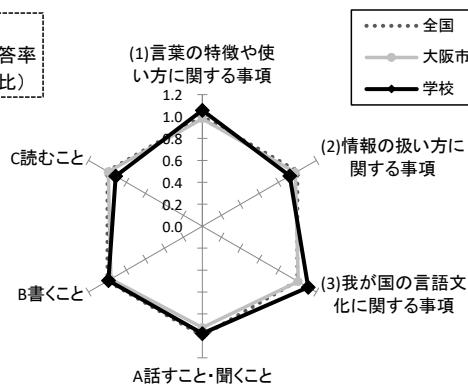
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



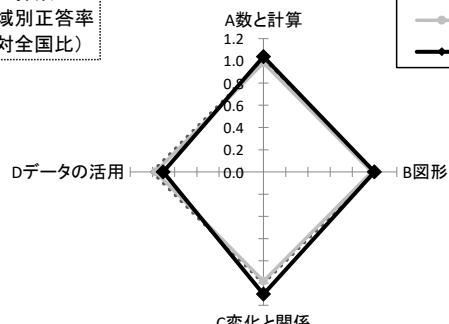
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



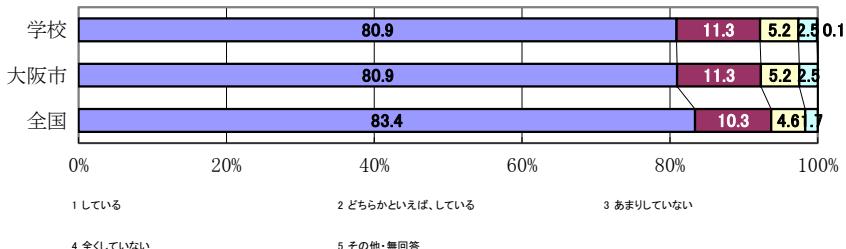
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

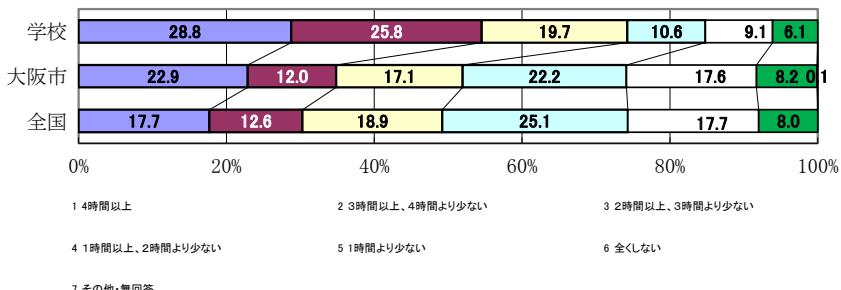
1

朝食を毎日食べていますか



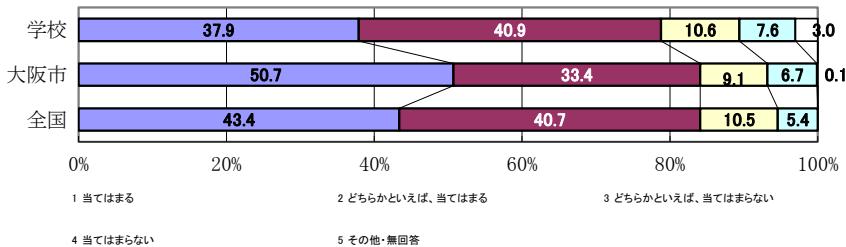
5

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



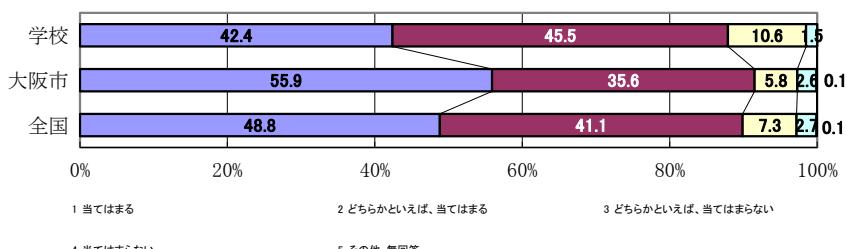
9

自分には、よいところがあると思いますか



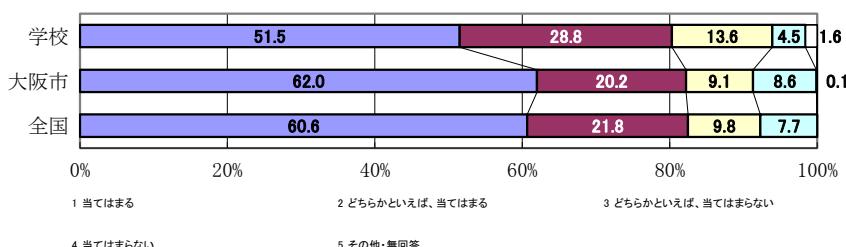
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



11

将来の夢や目標を持っていますか



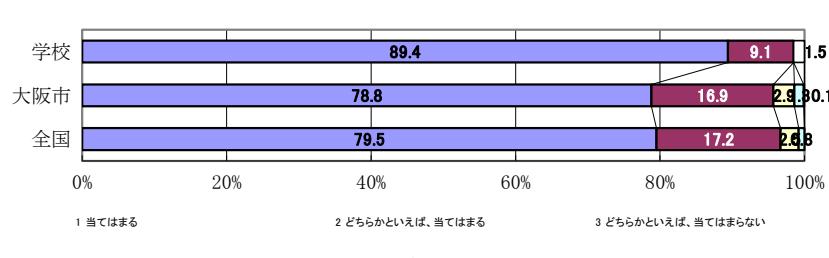
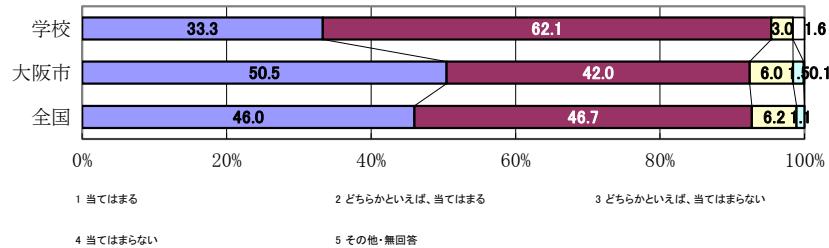
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

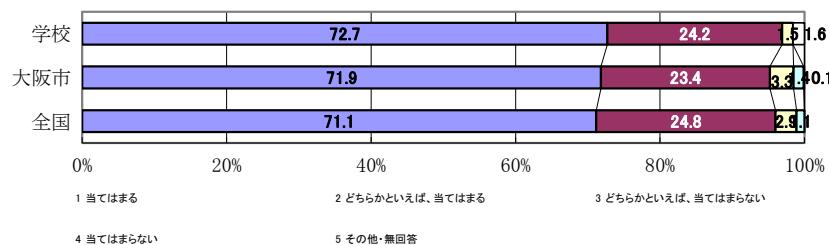
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



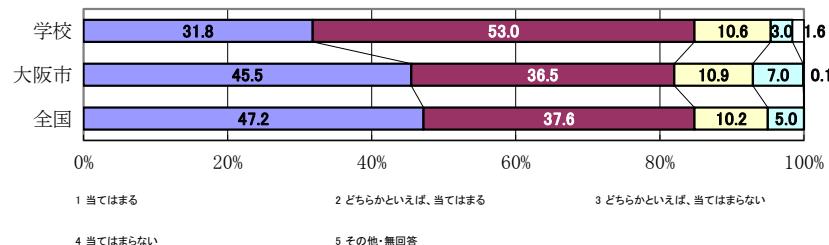
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



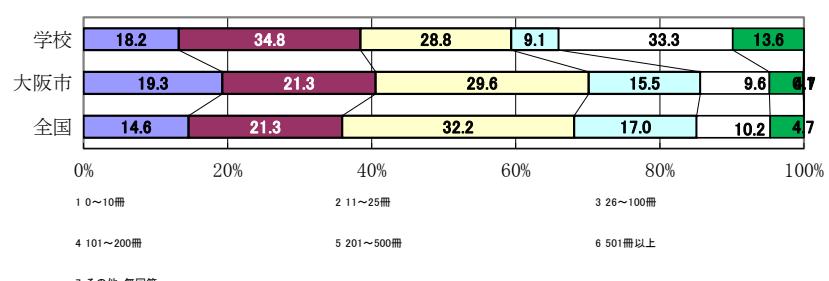
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



23

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)



学校質問より

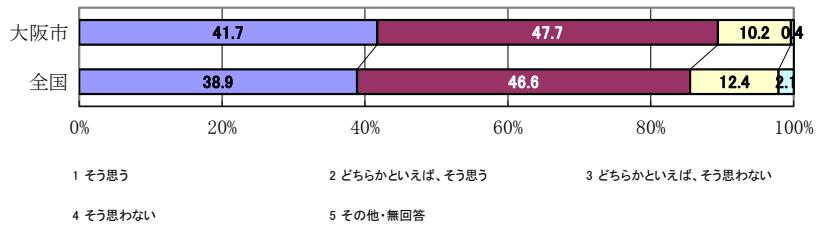
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

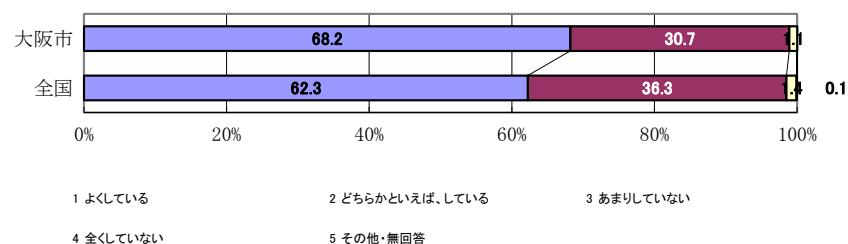
調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ちていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



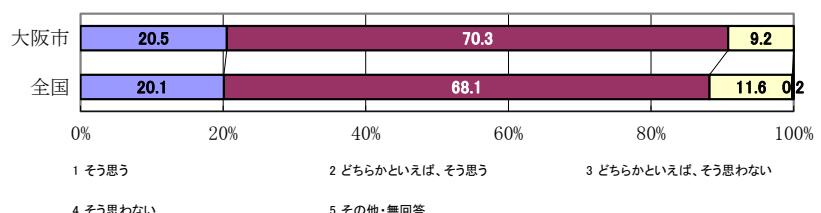
授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



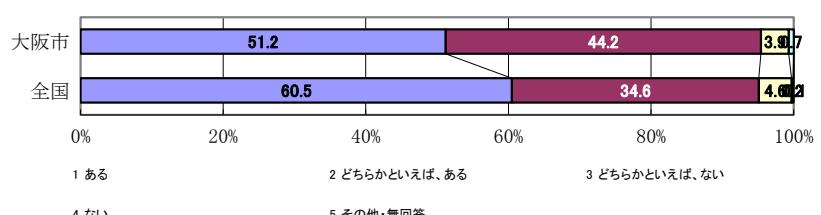
15
調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



16
教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか

学校 「ある」を選択



国語科は大阪市平均正答率を1:

55
コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか

学校 「そう思う」を選択

